西東京市市民協働推進センター

平成２５（２０１３）年度第１回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成２５年４月１６日（火）　午後７時～９時10分
■開催会場：イングビル３階　第１会議室
■出席委員：有馬委員、岸委員、久保委員、熊田委員、小嶋委員、坂口委員、田中紀子委員、田辺委員、富沢委員、中村委員
＜以上１０名、五十音順＞
■事 務 局：内田センター長、板垣、栗山孝一事務局長、丸木地域福祉課長、塚澤主事、篠原主事

〇社会福祉協議会・栗山事務局長あいさつ。
〇運営委員の委嘱（新たな任期となる委員へ委嘱状を授与）
〇自己紹介
〇副委員長の選出について
「西東京市市民協働推進センター運営委員会設置規則」第４条、第５条により坂口氏が委員長となる説明があり、副委員長については互選により田辺氏が選出された。
〇委員長、副委員長、就任のあいさつ。
委員長：報告事項の前に２つの傍聴人の定数は、および、会議録について審議したい。
事務局：傍聴要領について説明。（但し、人事に関すること、受託関連事項については非公開と補足あり）
委　員：傍聴者が誰なのか知る必要はないか。
事務局：傍聴者は届け出をしてもらうことになっている。
委　員：市議会でも傍聴ができるが、窓口に届け出をしているが、傍聴者名を公開していないのではないか。
委員長：プライベートな議事の時は席をはずしてもらうことは委員長権限で行う。本日の傍聴届けの報告をうけている。
委　員：市役所の人は傍聴に来るのか。
委員長：現状はなかなか同席していただいていない。協働コミュニティ課に求めていきたい。
委　員：委員には入らないのか。
委員長：西東京市市民協働推進センター運営業務委託業者募集要項に従って受託業者として設置している運営委員会なので、委託側の市役所職員が委員になることは難しいと思う。しかし、何らかの形で出席できないか今後も西東京市側へ働きかけたい。
傍聴人を原則２名ということとすることが了承された。
委員長：会議録のあり方について説明をお願いする。
事務局：会議録は、公開することを原則としている。色々な方法があるが、委員の名前は出さず、内容の要点をまとめる従来の形式を踏襲したい。また、書き起こすために録音しているが、承認願いたい。
委員長：議論の内容がわかる議事録としてきた。委員長・副委員長は具体的な名前がわかってしまうが、従来どおり要点筆記とし、名前は「委員」という表記方法ですすめたい。
会議録の公開と内容を要点筆記とし、発言者名は「委員」とすることが了承された。

１．報　告　事　項

１．西東京市市民協働推進センター業務報告について
事務局より３月の主催事業、ＨＰアクセス数、新規登録団体、相談対応状況について説明された。
今後、報告事項は事前にお知らせする方法としたい。
委員長：主催事業の開催について委員の協力に感謝する。
委　員：ゆめサロンは盛り上がって楽しかった。
委員長：参加された委員の方の感想をお願いしたい。
委　員：ＨＰのリニューアルをしたばかりだったので、関連するセミナーに出席した。ＨＰはプル型なので、メルマガやブログ等プッシュ型をあわせて使うことが有効であるとか、イベント等へ参加した人の声の発信は効き目があると言われたことが印象的だった。
委　員：ホームページの２月のアクセス数が増加しているのは、何か仕掛けたのか。
事務局：分析はできていないが、イベントが多かったこともあると思う。特別な広報は行っていない。
委　員：ゆめこらぼのＨＰを変更されたか。

事務局：大幅な変更はしていない。ピックアップニュースの更新は頻度を増やした。また、機材・サロンの予約状況を見られるようにはした。
事務局：市のＨＰから独立させて、ゆめこらぼ単独のＨＰにしたのが現在のものである。
委　員：まちづくり円卓会議のメンバーで、どのような具体的な活動を考えているのか。
事務局：障がい者向けに講座をやっている方が、講座を終わったあとの居場所づくりの検討をしている。今年度は、これを継続して行きたい。
事務局：今の説明は青年学級卒業後の行き場をつくりたいというもの。もう一つのものについて補足すると、地域のなかでの活動をしている人たちのネットワークをつくりたいというものがあった。
委員長：今年度も同じ会議メンバーでやっていくのか。
事務局：その予定だが、会議メンバーと相談していきたい。

２．４月以降の西東京市市民協働推進センターの事業について
事務局より、４月以降の実施事業及び年間予定について説明された。
次回は、年間予定を踏まえて運営委員会の年間議題を付議する旨、説明された。
委員長：４月以降の実施事業について質問はあるか。
委　員：ゆめサロンは従来は夜の開催だったと思うが、開催時間を変更するのか。
事務局：要望によりケースバイケースで考えたい。昨年度は、日曜日午後開催のゆめサロンもあった。
委　員：スタッフ情報交換会は、すべての公民館が参加するのか。
事務局：田無公民館だけである。
委員長：近隣６市市民活動連絡会は、行政担当者との連絡会か。出席者について説明をして欲しい。
事務局：小平、三鷹、八王子、日野、府中の中間支援センターで、市民活動をサポートする立場の人が参加している。今回は、今後の連絡会のあり方についてを議論する予定である。
委員長：中間支援組織というのは全自治体にあるが、公設公営、公設民営、地方だと民設民営もある。東京都全域の支援は東京ボランティア・市民活動センターが行っている。社協が受託しているケースが多いが、６市の中にはＮＰＯが受託している自治体もある。

３．平成２５年度西東京市市民協働推進センターの事業および予算について
委員長：予算については、組立も含めて説明をお願いしたい。
事務局：人件費を除いており、当センターを運営するにあたっての予算を示している。今年度は受託３年間の２年目に当たる。受託時に３年間の予算はほぼ決まっており、変更はない。基本的には、事業の項目に対応させてあり、全体で約３０６万円を計上している。
委員長：全体の受託は１４００万円。３０６万円を引いたところは人件費になる。
補正と流用の違いについて説明をお願いしたい。
事務局：流用は理事会では報告事項。補正予算を組む時は理事会の承認が必要。
委　員：調査研究事業について質問したい。今回が初めての調査か。３年前も実施しているのか。この調査を行ったあと、どのように使われるのか。調査対象は、市民活動団体が全部なのか一部なのか網羅性の観点の質問である。調査の中身は公開するのか。フィードバックの仕方についてはどうなのか。関連して相談件数が少ないのが年間通してあるが、能動的に動こうとしている事業を想定されているのか。
事務局：調査の対象は登録団体１０５団体と未登録だが西東京市を活動拠点とするＮＰＯ法人で約２００団体になる。質問内容は過去と同じ内容で、どのように変わっているかを把握する点が一つ。また、団体の抱える課題、ゆめこらぼへの要望等についての質問をしている。前回の調査では、会員や後継者難などの人材面や資金面の課題を抱えていた。どう変わっているかを踏まえ、ゆめこらぼとしてどうしていくのかについて、取材をして把握し、この場でも議論していきたい。また、協働事例集には７つの事例を載せたが、他の事例についてデータとして蓄積していくことにも使っていきたい。
委　員：アンケートの使用用途は限定しておらず、色々なところに使うのか？
事務局：ゆめこらぼの目的である、市民活動の支援と協働の推進に役立たせるために使う。受託２年目で来年度は最終年なので、協働センターとしてのあり方の企画づくりをしていく必要がある。そのための基礎データとして使わなければいけないと思う。
委員長：時間とコストをかけているのできちんと議論しなければいけないと思う。
委　員：調査票はできているのか？
事務局：既に作成し、調査を開始している。大きく変えると比較対照ができないので、前回と同様の調査内容

で実施している。
事務局：来月には運営委員会の議題の年間予定を提案する。
委員長：市民フェスティバル等大きな企画は事前に企画書を運営委員会に諮り、意見をもらうようにして欲しい。案の段階で提案してもらいたい。
委　員：１０月に大きなイベントが入っていないのがいい。国体が入っているので市もいろんな団体も関わるであろうから注視しながらやってほしい。
副委員長：今回ヒアリングをやるということで活動の内情がわかると思う。３年前の調査を土台に子どもネットワークがなされているので、ゆめこらぼでコーディネートしていってほしい。状況調査なので、どこまでふみこめるかわからないが。
市民フェスティバルは１２月１日で決定か？
事務局：決定ではない。
委員長：１２月１日はＮＰＯ法施行日。そのことも鑑みてのことか。
事務局：それだけではないが、運営委員会の内諾をいただき決めていきたい。
事務局：１２月１日は、全国的に何か行事があって団体が参加するような状況があるか。
委員長：対国会、行政への提案をしていくかもしれないが、日程を気にしなくてもいい。市民フェスティバルの場でも活動団体調査の報告等ができるといい。
委　員：ゆめこらぼでは、どのような機材を貸し出しているのか。
事務局：プロジェクター、スクリーン、マイク、紙折り機、ラミネーター等。
委　員：行政側との懇談会は、行政側の参加は協働コミュニティ課なのか。
事務局：今回は地域安全とまちづくりをテーマにしたのでそれにかかわる課の参加で１３課になる。
委　員：参加した市民団体はどれくらいか。
事務局：１２団体。「地域安全、まちづくり」をテーマに登録している約２０団体に声をかけた。
委員長：他に参加した方の意見はないか。
委　員：行政職員と市民活動団体との懇談会に参加したが、とても良かった。ワールドカフェ方式だったのでその場は良かったが、実名がわからなかった。参加者名簿はあったが、もう少し懇談する時間があれば、なお良かった。
委員長：次回へ反映するように。参加するかどうかはあるが、懇親会を設定するという方法もある。
委　員：行政が参加して良かった。協働コミュニティ課とともに行政との協働を推進してほしい。
委員長：重点項目になっているので、今後も議論をしていきたい。

２．審　議　事　項

１．平成２４年度第１１回西東京市市民協働推進センター運営委員会会議録について
委員長：これは、事前に確認させてもらうようにしている。
特に意見なく、第１１回の西東京市市民協働推進センター運営委員会会議録（未定稿）は確定稿とされた。

３．協　議　事　項

１．西東京市市民協働推進センター運営事業報告（案）について
委員長：理事会に報告ということか。それ以外の公開はするのか。
事務局：ＨＰ上の公開は考えていなかったが、確認して対応する。
委　員：研修会などへの参加で、「日本福祉学会」は「日本地域福祉学会」に訂正すること。
委員長：社協職員名に氏がついているのでとったほうがいい。すべて敬称略の記載でも良い。
委　員：ゆめこらぼ通信の発行部数は記載されているが、配布先がわからない。
ＮＰＯ・市民活動ネットワークの第３回についての記載は、フェスティバルへ参加した１団体のみを取り上げている理由がわからない。
委員長：子どもネットワークの登録団体がフェスティバルに参加したという記載に変更すること。
委　員：運営事業報告なので、定休日である火曜日を除いて１０時から２１時まで開館していることは売りではないかと思う。開館時間、サービスのレベルを示しておくのは大事かと思う。
事務局：追加記載する。
委員長：コメントと課題を載せると良いと思う。前文に全体としての振り返り・評価を記載し、先ほどの委員

の意見も参考になる。

４．そ　　の　　他

１．次回運営委員会日程について

日時：５月２１日（火）１９時～２１時

会場：イングビル３階　第１会議室